

盆栽園とは何か？

大宮盆栽村の盆栽園は日本の盆栽文化の中心にあり、世代を越えて受け継がれた栽培技術を生きたまま保ちつつ、盆栽技術に少しずつ新風も吹き込んでいます。歴史的に、盆栽園の仕事の大部分は、木の販売だけではなく、政治家・医者・実業界の指導者を含む富裕な個人の所有する盆栽の栽培と維持管理です。

この伝統は今日に至るまで継続しており、盆栽園は毎月の報酬と引き換えに盆栽の面倒を見ている。しかしながら、揺れ動く日本の経済状況は、栽培や新しいオーナーへの盆栽の販売が業務に占める割合を大きくしつつあります。また、盆栽園は個人から盆栽を買い取ることもしています。これは、多くの盆栽がオーナーの死後も長く生き延びることを考慮すると、重要な役割です。

また、大宮の盆栽園は、木を大きくすることよりも栽培することに特化しているところが独特です。木は他の場所で育てられ、そして成長したものが園によって買い取られると、入念に形を変えられ、何十年にもわたる期間をかけ、生ける芸術作品となります。盆栽ファンには、大宮の7つの盆栽園のそれぞれが、栽培に対する独特のアプローチで知られており、この専門特化が健全な競争の結果現れてきました。盆栽の指導を行うことで収入を得ている盆栽園もあります。